

## 第4回高山市民オリエンテーリング大会レポート

2019年6月30日、高山市城山公園で第4回高山市民オリエンテーリング大会が開催され、スタッフとして参加しましたので報告します。(担当 川島)

スタッフ 橋本、扇本、牧ヶ野夫妻、牧ヶ野智央、牧ヶ野宏人、川島

当日の天気予報は、梅雨前線の南下で全国的に大雨が降る状況であった。30日朝4時起床、前日に準備しておいたOL関係用品を詰めたバッグやカメラなどを車に積む。朝食をとって5時40分過ぎに小雨状態の各務原市の自宅を出発、東海北陸自動車道関ICから高速に乗る。美並ICを過ぎた頃からザーザー降りとなってきた。高山方面へ行くときは、郡上八幡ICで降りてせせらぎ街道経由で行くことが多いが、今日は豪雨警報が発令されているので、交通止めを警戒してそのまま通過。白鳥ICを過ぎた頃から叩き付けるような豪雨となってきたので、スピードを落として慎重に運転する。荘川-清見IC間は、標高が1kmを越える高地のため、雨に加えて霧が路面に這う。更に山側の側壁が崩壊した箇所の復旧工事の為、制限速度が50kmとなっている。集合時間が8時となっているので、遅刻しないか心配になったが、まずは、安全運転に徹する。清見ICから高山市へは中部縦貫自動車道経由の予定をしてきたが、工事のため通行止め、国道158号線経由で城山公園に向かう。幸い、雨は清見IC辺りから小雨になってきたのと交通量が極めて少なかったのでスムーズに走行でき、7時45分頃城山公園に無事到着した。

現地では、既に橋本さんと牧ヶ野さん一家の皆さんが会場設営に掛かっておられた。雨のため、会場のレイアウトを大会本部を大型の東屋に変更して、機材の搬入、テントの設置、SI計時システムで行うため、SIカードユニットやスタート枠の設置等を手分けして行った。又、参加者用の休憩施設をつくるため、ブルーシートで仮設屋根の設置、雨に濡れた長椅子等の雑巾がけをした。参加者の受付手順や参加費の受け取りについて確認した。PC用の電源は、橋本さんの自動車からDC-ACインバーターを利用してとった。PCやプリンターが吹き込んだ雨にやや濡れたが、トラブルもなく稼働した。



9時半を過ぎた頃から、橋本さんの携帯電話に事前申込者から、大会開催についての問い合わせが殺到した。

天気は小雨になってきており、次第に良くなっていくとの予報もある事から、大会は開催するが、参加についてはご自身の判断に委ねることとした。電話では、欠席する事に付いてのお詫びや大会開催に対しての労いの言葉を多くの方から頂いた。この頃には、県外から参加されたベテランの方や、市内から参加された家族連れのグループが来られたのでスタッフ一同やる気十分になってきた。外国人家族の参加もあった。





予定では、11時から発走開始になっていたが、天気も小康状態になってきたので、参加者の便を図ることにして10時20分から前倒し変更し、初心者のグループは受付が完了し初心者説明が終わり次第、経験者の個人は参加者の準備が整い次第、1分以上の間隔を置いて順次スタートした。

OLが全く初めてという家族グループにスタート・コントロール、1番コントロール、2番コントロールまで付き添ってOLの楽しさを説明した。これには5月25～26日に下呂市四美の南飛騨健康増進センターで開催されたインストラクター養成講習会の講義内容が大変役に立った。2人の若い元気なお母さんは、幼児を背負子で背負って参加された。お母さんも大変だけど、背負われたお子さんも大変だったと思うが、泣き声一つも無かったのには大変感心した。大会は順調に進行した。雨のため滑りやすいテレインであったが、競技中の事故はなかった。競技結果をM u l k a で処理、参加者にゴール時点での成績を印刷して渡すと共に、速報掲示板に掲示した。

14時頃から表彰式を挙行。表彰式は、大場会長の代理で川島から各クラス毎の入賞者に表彰状を渡した。子供達が参加したグループは、4家族の集まりだったので、家族毎に賞状を渡したところ、大変喜んでいただけた。谷川夫妻が、日本のOL会でトップ選手とすることを伝えると子ども達と写真と一緒に撮りたいと表彰状とともに記念撮影会となった。子ども達にもあこがれの選手として映ったことと思う。表彰状授与後、川島から参加者の皆さんに、雨の中にも係わらず多数の方々に又遠方から参加していただけたこと、皆さんのご協力のお陰で大会が無事終了したこと、OLについての理解を深めていただいたこと、今後も高山市民OL大会を開催するので、是非参加していただきたいことなど、お礼と感謝の言葉を伝えた。

参加者の声では、経験者の方が、「公園と思っていたら、とんでもなくレベルが高かった」、「又チャレンジしたい」、初心者の方では、「楽しかった、又参加したい。」などの声が聞かれた。岐阜県では豚コレラが発生しているの、他県からの参加者に配慮して、競技に使用した靴や雨具などを洗濯できるよう、たらいと束子を橋本事務局長が用意し、趣旨を説明されたところ、皆さんに協力していただけた。

雨の中競技に使用したコントロール・フラッグが泥だらけになったので、撤収後全部のフラッグを公園の洗い場で洗濯した。ちょうどこの頃天候が回復し、太陽がサンサンと照ってきたので、近くの檜の枝に吊して乾燥させた。フラッグが綺麗になった。今日のスタッフ全員の記念写真を吊されたフラッグをバックにして撮影した。



大会の様子を写真撮影したので、この写真を使ってスライド・ショーを作成した。再生所用時間は6分24秒である。少人数の大会であったが、大会の雰囲気を感じいただけたならば、幸いである。高山市民オリエンテーリング大会は、今年で4回目を迎えたが、事前予約者数が、71名であった。大会は朝方豪雨警報が発令されるなどのためキャンセルが続出し、最終参加者数は38名となってしまった。

この大会を時系列で見ると、第1回は、城山公園。第2回は、中山公園。第3回は、乗鞍青少年の家。第4回は前述の通りであるが、このようにこの4年間で確実に市民に浸透してきたと思える。これは地元でOLを普及したいと情熱を持ってチャレンジしている橋本事務局長の情熱のたまものであると思う。地元の小学校に依頼して、児童宛に大会のチラシを配布した。配布にあたっては扇本さんが大変骨を折って頂いた。また、競技中に地元のケーブルTVや高山市民時報の記者が取材に見えた。多忙な中、広報にも配慮していただいた。欲を言えば、中日、岐阜新聞などの地方紙にも取材していただき、記事にしてもらおうと市民の目にとまらと思う。皆で力を合わせ、知恵を絞ってOLを普及しよう。